

# 道連ニュース

2009年1月号 No.31

北海道生活協同組合連合会

〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目4番3  
札幌クレストビル5階  
TEL 011-726-0288 FAX 011-726-0280  
URL: <http://www.doren.coop>

## トーク・トーク北海道農業を各地区で開催！

—北海道農業を応援する—

地域の農業の現状と課題を知り、応援するためにどう行動するか考えようという目的でトーク・トーク北海道農業を開催。生産者・行政・コープさっぽろ各地区の活動リーダーが集まり活発な話し合いが行なわれました。

どの地区も道・市・農政事務所が地域の農業・生産物の特色等をまとめた資料で説明、生産者からは厳しい状況やご苦労、熱い思いが話され、時間が足りない程でした。

アンケートには、地産地消・食料自給率への関心が

高まったことや各方面の方々との交流の大切さを改めて感じたとの多くの声が寄せられました。消費者の役割は、知る(学習)・食べる(購入)・広げる(交流)ことだという共通の認識がどの地区も出来てきました。



安心安全のご近所野菜について学んだ北見地区



地産地消の美味しさを直に味わって学習した旭川地区

開催地区	日時・場所・参加数	話し合いテーマ
札幌西地区	12/2(火) 北12条 25名	札幌の有機農業と消費者のかかわりについて
札幌東地区	12/19(金) 北12条 34名	有機農業を知って・学んで・考える時が来た!
苫小牧地区	11/4(火) ステイ店 19名	ご近所野菜の取り組みと消費者の役割
函館地区	9/19(金) ついき農園 12名	有機農業に関する意見交換会
旭川地区	12/16(火) 地区本部 9名	地産地消・特別栽培について
釧路地区	11/11(火) 中標津 8名	根釧酪農の現状と未来について
北見地区	12/17(水) 地区本部 11名	地産地消&ご近所野菜
帯広地区	1/26(月) ベルデ店 21名	十勝の農業を学ぼう! 応援しよう!

## 脱灯油を探る「家庭用エネルギーを考えるプロジェクト」を進めています

昨夏の灯油大暴騰の中で、家庭用エネルギーの年間支出額の低減を目的に8月に上記プロジェクトをコープさっぽろ・道連でスタートさせ、以下の内容で第1ステージ「各種エネルギーを学習する」を終了しました。1～3月は第2ステージ「各種エネルギーの個別評価と比較評価、そして組合員にお奨めする今後のエネルギーの選択」を進めます。その後、第3ステージ(4～6月)で学習用パンフレットづくりを進める予定と



日本家畜貿易(株)牛糞ペレット実験プラントを現地視察するプロジェクトメンバー

組合員の居住条件、家族・年齢などの家庭条件、地域条件が様々ではありませんので、どれかのエネルギー

- 第1回(8月7日)  
プロジェクトの目的・進め方の整理
- 第2回(9月22日)  
「電力エネルギー」北電、「都市ガスエネルギー」北ガスの学習
- 第3回(10月22日)  
とちかわレット協同組合工場視察、足寄町のペレット活用政策の学習、牛糞ペレット実験プラント(帯広)の視察
- 第4回(11月20日)  
「太陽電池エネルギー」シャープアメニティシステムの学習
- 第5回(12月17日)  
「風力エネルギー」NPO法人北海道グリーンファンド、「木質ペレットエネルギー」北海道ペレットの学習

一に絞り込むのではなく、それぞれのエネルギーの特徴や今後の技術革新による見通しなどを明らかにして、各種の条件の中でエネルギーを選択したり組み合わせさせていただくような提案を考えています。

灯油価格が落ち着き、経済環境激変で家庭でのエネルギー機器の更新などが難しい状況ですが、資源高・地球温暖化などあり、今後のエネルギーを提案していきたいと考えています。

生活クラブ生協が「協同の精神」に基づく福祉事業を始めようとしていた時、地域社会に貢献したいと考えていた豊平区在住の篤志家から土地・建物の提供を受けて、運営を生活クラブが担うということで2001年10月に開所しました。

生活クラブ生協が運営するデイサービスなので、入浴には石けんを使い、できる限り自前の消費材を使った食事やおやつを提供しています。建物の広さに対して定員を18名と少なくしサロンの自由にゆったりと過ごせるのも、利益を追求する運営ではないからこそできることだと思います。スタッフは看護師・介護福祉士などの資格を持つ10名で、皆生活クラブ生協の組合員です。利用日・時間は月～金曜の10時～15時で、月寒地区とその隣接地域が利用エリアです。現在利用されている人数は月平均37名程で1日平均では11人、男女比は1：2、介護度は1と2の方で7割を占め、年齢は80代の方が多く平均年齢が毎年上がっている状況です。

2007年7月には、隣地に居宅支援事業所「生活クラブケアプランセンター」を開所してケアプラン作成や相談業務を行っています。今後は両事業所が連携しながら、地域の高齢者福祉の一翼を担えるような事業



「デイこたけ」  
建物外観

休養やゲーム・  
手芸・読書など  
様々に過ごして  
います



活動を目指していきたいと思っています。

生活クラブデイサービスセンター「デイこたけ」(通所介護)  
札幌市豊平区月寒東3条4丁目1-17  
電話 011 (855) 1122 FAX 011 (855) 1128

みわ店（北見市）は、住宅街にあった旧店から、国道39号沿いに9月12日、移転・新築オープン。競合が立ち並ぶ激戦区ですが、地場商品やバラ売り、作りたての強化やメニュー提案など、職員・パートナーさんが一体となって「おいしいお店」作りに取り組み、当初の目標を大幅に上回る135%成長を確保しています。

10月22日にオープンした東むろらん店（室蘭市）はクリア生協破綻の逆風もある中、組合員加入も2,150人を超え、徐々に地域に広がりつつあります。計数はまだ厳しい状況ですが、パートナーさんのスキルも向上しており、各種課題も店舗一丸となって取り組み成果を挙げています。地域の認知、利用の向上を目指し奮闘しています。

11月14日には、ひとみ店（函館市）が移転・新築オープン。旧店の約2.5倍の売場面積、店舗前103台の駐車場を備えた新店舗は「売り場が明るくて、買物がしやすくなっ



開店1時間後（午前10時頃）の様子。開店から2時間、入場制限が行われた東むろらん店

た」と組合員さんにも好評、供給も200%成長で目標を達成しています。店舗から約1.5kmの所に、10月8日にマックスバリュ、11月11日に魚長もオープンしており、今後も商圈分析をすすめるとともに、小単位の品揃えを強化し、客数・供給アップを図っていきます。

11月29日にオープンした星が浦店（釧路市）は、新釧路川西側地区に初の出店となった店舗です。生協店舗が集中する東側地区とは購買動向の違いがあり、また、競合の激しい攻勢で計数進行は厳しく、現在平日1,400名の来店数を1,800名に引き上げることが課題です。中心パートナーの育成、細部にわたる店舗運営の基礎作りに向けて努力しています。



店頭ではトドックも登場し、函館センターのスタッフが加入行動につなげるためのアンケートを実施したひとみ店（函館市）